



「VR防災体験における注意事項等」

ヘッドマウントディスプレイ（以下、ゴーグル）で見る映像を通して地震・火災・風水害の災害を疑似体験できます。それぞれの災害の実相に合わせ、座席が動いたり、水しぶき、熱、においなどの効果が発生します。



「利用前に必ず確認して欲しいこと」

下記に該当する方は、VR防災体験車を利用できませんので、ご了承ください。※体験は小学生以上が対象となります。

- 1 身長100cm未満の方（モーションシートに着席しての体験はできません）
- 2 妊娠中の方、またはその可能性のある方
- 3 高血圧または心臓に疾患のある方
- 4 頭、首、背中、足等けがをされている方、もしくは不自由な方
- 5 歩行や起立動作、体のバランスを取ることが難しい方
- 6 香りや煙、光などの刺激に弱い方、アレルギーのある方
- 7 乗り物に酔いやすい方、飲酒している方、または薬物の影響下にある方
- 8 災害映像の視聴により強い精神的ストレスを感じる方

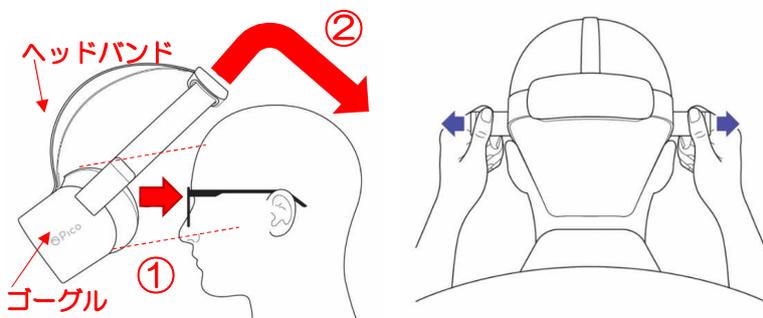
1 3歳未満の子供がゴーグルを使用する際は、下記の事項について、ご了承ください。

- 1 未就学児は、利用することができません。
- 2 VRコンテンツの内容については、保護者がふさわしくないと判断されるものは利用をお控えください。
- 3 斜視や複視、その他、視力の異常や眼科的疾患のある方や、眼科に通院している方は、専門医に相談の上、ご利用ください。
- 4 利用後に子供の視力について、異常が見られた場合は、早急に専門医を受診してください。

「体験時の注意事項」

- 1 体験時間は、約3分です。
- 2 スポンのポケットの中身をすべて出し、カバンに入れるか体験シート前の白いカゴに入れてください。（後ろポケットは特に注意：シートに挟まります。）
- 3 イスに座る前にゴーグルを手にとってから深めに座ってください。
- 4 体験乗車中は、イスが激しく動きますので、しっかり掴って立ち上がらないようにしてください。（転倒などによるケガ防止のため）
- 5 体験中、具合が悪くなったらゴーグルを外してください。
- 6 シートに座り、ゴーグルを装着したら正面を向いてお待ちください。
- 7 ゴーグルをつける時は、前髪が入らないようにしてください。また、髪留めがバンドに当たることがあるので、髪留めをすらすか、外してください。
- 8 体験中は、映像が360度流れているので周りを見渡してください。映像が映らなくなったり、真っ暗のままだったりしたら手をあげて係員に伝えてください。
- 9 お子さんを抱きかかえた状態での乗車はできません。

「ゴーグルの装着方法」



先にゴーグルを目に当てる→次にヘッドバンドを着ける

- ①ゴーグルの鼻のくぼみの位置をご使用者の鼻と合わせ、顔に当ててください（メガネを着用したままでも装着可能）
- ②ヘッドバンドをしっかりと装着してください。必要に応じてサイドバンドを調整してください。

ゴーグルを装着したら、以下のとおり、係員の指示に従ってください。



ロゴマークが見えているかを確認します。その後位置調整をしますので、**正面を向いたままお待ちください**



「準備OK」の文字が出ますので、**見えた方は手を挙げてお知らせ下さい。**

「東京消防庁公式アプリをダウンロードしましょう！」

緊急時にも役に立つ
東京消防庁公式アプリ

コンテンツがいっぱい!!

- 救急サポート
- ミニゲーム
- FAQ
- 緊急連絡
- 消防イベント情報
- スタンプラリー
- 消防マップ

東京消防庁公式アプリ 無料

ダウンロードはコチラ! 東京消防庁公式アプリ 検索



VR防災体験が終了したら、体験のみ終わらせず、東京消防庁公式アプリで火災や地震について学びましょう!



リモート防災学習ページでも防災について学べますので、QRコードからページを確認してください。(子供向け)



防災キャラクター「ふんわり ぶむぶむ」

【家具転倒対策の例】

ベルト式
冷蔵庫は壁にベルトで固定する。

粘着マットやベルトなどで電子レンジを固定するとともに、台も壁に固定する。

ストラップ式

つっぱり棒 (ポール)

扉開放防止器具

L型金具
壁に強度が足りない場合は、あて板をつけネジが抜けないようにする。

連結金具
上下に分かれている家具は連結する。

ガラス飛散防止フィルム

ストッパー式
つっぱり棒を使用するとき併用する。

※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。